

令和7年度

福岡都市圏広域行政事業組合

流域連携基金事業 実施レポート

福岡県うきは市 合所ダム水源の森を守る森林セラピー体験

交流推進

森林保全
支援

地域振興
支援

環境対策
支援

広報
・
啓発

福岡都市圏の水道水の約1/3は、
筑後川の水です。

コップ
3杯のうち1杯は
筑後川の水だよ



流域連携基金キャラクター「ちっこりん」

ご挨拶



福岡市・筑紫地域・糟屋地域・宗像地域・糸島市を圏域とする福岡都市圏の17市町で設立した福岡都市圏広域行政事業組合は、圏域に共通する行政課題に対応するため、様々な事業を共同で実施しています。

現在260万を超える人々が暮らす福岡都市圏には、大きな川がないなど、地理的に水資源に恵まれておらず、私たちの生活に欠かせない水道水の約3分の1を筑後川に頼っています。圏域の安定的な水道水の供給は、ひとえに、筑後川流域及び水源地域の住民の皆様のご理解とご協力によって支えられています。

このため、当事業組合では、森林の保全や河川の清掃活動、水の学習等を通じて、福岡都市圏と筑後川流域及び水源地域の住民の皆様と交流・連携を深め、相互理解を促進することを目的に、「流域連携基金事業」を行っています。

近年、筑後川流域及び水源地域では、毎年のように大雨による被害が発生しています。一方で、昨年9月以降は少雨が続く、筑後川関連ダムの貯水率も大幅に低下しており、本年においても依然として厳しい状況が続いているため、福岡都市圏全体で節水への協力を呼びかけているところです。こうした状況を踏まえ、水源の大切さを改めて認識するとともに、日頃から、筑後川の環境を大切に守り、貴重な水源を育てていただいている関係者の皆様に対して、改めて深く感謝申し上げます。

福岡都市圏の住民の皆様には、水資源が限りあるものということを再認識していただき、これからも筑後川のめぐみへの感謝を忘れずに、水を大切に使うとともに、次世代を担う子どもや若い世代が今以上に水環境に関心を持ち、森や川を守り育てる活動にチャレンジしてほしいと思います。

今後とも筑後川流域及び水源地域との交流・連携を積極的に進めてまいりますので、皆様のご理解となお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月

福岡都市圏広域行政事業組合

管理者 高島 宗一郎

目次

交流推進事業

水の姉妹校形成促進事業	2P
かっぱリング事業	3P
筑後川のめぐみフェスティバル2025	5P

森林保全支援事業

水源林整備促進支援事業	6P
200海里の森づくり下草刈り交流会	7P
“梧ヶ鼻”水源の森づくり	7P
水郷ひたの森づくり	7P
合所ダム水源の森を守る森林セラピー体験	8P

地域振興支援事業

筑後川・川の駅スタンプラリー 2025	8P
水源地公共研修施設利用助成	10P

環境対策支援事業

有明海クリーンアップ作戦	10P
筑後川河川美化「ノーポイ」運動	10P
ひと山まるごとガーデニング	10P
小石原川・佐田川ノーポイ運動	10P
環境対策支援補助金交付団体	11P

広報・啓発・その他

福岡都市圏「水」キャンペーン2025	12P
ありがとう筑後川シール	13P
流域連携基金審議会	14P
流域連携基金条例・施行規則	14P
流域連携基金イメージソング「筑後川にて」	裏表紙
令和7年度流域連携基金事業実施場所	裏表紙

水の姉妹校形成促進事業

「水」でつながっている福岡都市圏の小学校と筑後川流域の小学校が、一緒に「水」に関する学習・交流を行いながら「水の大切さ」や「森を守り育てることの大切さ」を学び、福岡都市圏と筑後川流域の将来にわたる「相互理解」の促進につなげています。

福岡市立北崎小学校 — 朝倉市立秋月小学校

○実施日／①令和7年9月19日(金) ②令和7年10月30日(木) 令和7年11月27日(木)

○実施場所／①福岡市立北崎小学校及びその周辺
②上秋月コミュニティセンター・小石原川ダム・小石原伝統産業会館
③朝倉市立秋月小学校・秋月博物館・和紙工房

○参加者数／北崎小 4年生12名、5年生9名、6年生15名 合計36名
秋月小 4年生12名、5年生20名、6年生15名 合計47名

両校の5年生は、北崎小学校とその周辺にて、魚釣りやシュノーケリング体験を通して親睦を深めました。

両校の4年生は、福岡県の水源や伝統産業について学習し、ダム等の施設見学を通して親睦を深めました。

両校の6年生は、秋月博物館の見学や和紙工房での紙すき体験、秋月小学校での藍染体験を通して親睦を深めました。



福岡市立能古小学校 — 日田市立大山小学校

○実施日／①令和7年7月11日(金) ②令和7年10月17日(金)

○実施場所／①福岡市立能古小学校 ②大分県日田市立大山小学校

○参加者数／能古小学校4年生22名、大山小学校4年生20名

①7月11日、大山小学校の児童が能古小学校を訪問しました。能古小学校の児童と一緒に福岡都市圏と筑後川の水の関わりについて学習した後、海遊びや能古島の食材を使った昼食を通して交流を深めました。



②10月17日、能古小学校の児童が大山小学校を訪れ、姉妹校児童と4か月ぶりに再会しました。現地では、松原ダム見学やダム湖の遊覧船体験をして、ダムの構造や役割について学びました。その後、「おすわけ野菜のレストラン松原」にて地元の食材を使った昼食をとり、充実した一日になりました。



かっぱリング事業（筑紫地域） 第6回五ヶ山・背振クロストレイルwith かっぱリング

- 開催日／令和8年3月8日（日）
- 実施場所／福岡県那珂川市大字五ヶ山
- 参加者／福岡都市圏272名、筑後川流域72名、その他152名 合計496名

福岡県那珂川市にて開催された「第6回五ヶ山・背振クロストレイルwith かっぱリング」に福岡都市圏、筑後川流域のランナーが参加しました。当日は参加者、来訪者に対して、かっぱリングの周知や筑後川流域の特産品を配布し交流を深めました。

参加者の声

<筑紫地域（筑紫野市）20代女性>

五ヶ山ダムイベントに参加し、ダムの貯水がとてもしないことにびっくりしました。普段何気なく使っている水の貴重さを再認識し、自分にできることをやっというと思いました。

<筑後川流域（吉野ヶ里町）30代男性>

毎日、当たり前のように使っている水の大切さを、このイベントを機に改めて実感しました。節水を心がけて資源を大切にしていきたいと思いました。



担当者の声

那珂川市行政経営課 神代 友紀さん

当日は天候に恵まれ、例年以上の賑わいの中でイベントを開催することができました。今年はダムの貯水率が低いことが連日ニュースになっていますが、参加者の皆様も身近に感じておられるようでした。

啓発品をお渡ししながら水の大切さを改めて考えていただけたイベントになりました。



かっぱリング事業（糟屋地域）

第28回糟屋地区中学生地域交流 サッカー新人大会

- 開催日／令和7年8月30日（土）・31日（日）
- 実施場所／糟屋地域9会場（メイン会場：粕屋東中学校）
- 参加者／47チーム 約940名（糟屋地域16チーム、筑後川流域、その他地域31チーム）

糟屋地域では毎年、中学生のサッカー大会を開催しています。今年は、筑後川流域から招待した9チームを各会場に1チームずつ割り振り、総当たり方式での試合を行いました。サッカーの試合を通じて、筑後川流域と福岡都市圏のチームで交流を深めることができました。

参加者の声

<糟屋地域（粕屋町）Tさん>

私は、かっぱリング交流サッカー大会に参加して、水の大切さについて知りました。水は無限にあるわけではありません。このかけがえのない資源を守るために、シャワーの時間を短くしたり、水を出しっぱなしにしないなど、小さな行動を一人一人が意識することで大きな変化を生み出すことができます。これからも水のありがたみを忘れずに、感謝の気持ちをもって生活していきます。

<筑後川流域（小郡市）Tさん>

私たちが住む近くに流れる筑後川の水が、福岡市を中心に利用されていることを聞いて、水の大切さを知るとともに同じ福岡の地で協力合って生活していることが分かりうれしく思いました。来年も、サッカー大会を通じて、たくさんの人と出会い、サッカーを頑張っていきたいと思います。

担当者の声

粕屋町上下水道課 辻 大樹さん

日差しも強く、猛暑日の中で開催されたかっぱリングサッカー大会でしたが、日ごとの練習成果を十分に発揮して一生懸命にボールを追いかけている姿がとても魅力的でした。また、大会は大きなけがもなく終えることができ安心しました。

メイン会場の粕屋東中学校では、「かっぱリング」についての趣旨説明を行い、激励の言葉を大会参加者にお伝えしました。私自身も、「かっぱリング」という活動を通して、筑後川の水が私たちの生活に多く利用されていることを知って、当たり前にも水を使えることに感謝する必要があると考えさせられました。今後も「かっぱリング」という活動を通して少しでも多くの方が水について考えていただけたらと思います。



「かっぱリング」とは？

福岡市を除く福岡都市圏の地域を4つの地域（筑紫地域、糟屋地域、宗像地域、糸島市）に分け、文化やスポーツ、水源地域での植樹などを通じて、筑後川流域と福岡都市圏の地域又は自治体単位で行う住民同士の交流事業（福岡都市圏筑後川流域交流推進事業）を「かっぱリング」と呼んでいます。

「かっぱリング」の由来

「かっぱ」で代表される筑後川と交流の輪（リング）を広げ、筑後川流域と福岡都市圏市町の「カップリング」（2つのものの組合せ）を進めるという意味を込めて「かっぱリング」と名付けました。



かっぱリング事業（宗像地域）

宗像地区・大山町子ども交流事業 ～かっぱリング2025～

- 開催日／令和7年9月20日（土）
- 実施場所／津屋崎千軒なごみ（福岡県福津市）
- 参加者／宗像地域14名、大分県日田市大山町9名、合計23名

都市圏共通の水源地域である日田市大山町の子どもたちが、宗像地域の子どもたちとともに、福津市にある津屋崎千軒なごみにて交流を行いました。福岡都市圏と筑後川の水や環境等について学習、ワークショップを行い、その後は廃棄プラスチックを使用したタイルアート作りをしながら交流を深めました。

参加者の声

<宗像地域>

水が大切なこと、海に流れるゴミの80%は陸からのゴミであることを学びました。班のみんなで協力してタイルアートを作るのが楽しかったです。また、大分県日田市大山町の人と交流できて楽しかったです。

<日田市大山町>

海洋ゴミのこと、リサイクルは大切なことを学びました。最初は緊張してあまり話せなかったけど、最終的にはみんなで協力してタイルアートを作れて楽しかったです。ネームキーホルダー作りと海岸清掃が楽しかったです。



担当者の声

宗像地区事務組合

ワークショップ等を通して両地域児童の交流を深め、有意義な時間を過ごすことができていると思います。また、筑後川の水が両地域に関係していること、水とその環境を守っていく必要があることを学んでもらえ、水道についてより身近に感じてもらえたと思います。



かっぱリング事業（糸島市）

第26回糸島市・日田市上津江町 交流事業「護持の森散策」

- 開催日／令和7年11月8日（土）
- 実施場所／護持の森（大分県日田市上津江町）
- 参加者／糸島市22名、大分県日田市上津江町3名、合計25名

糸島市の住民が、日田市上津江町の住民とともに福岡都市圏の水源地域である日田市上津江町の「護持の森」にて、散策を行いました。研修や昼食のBBQを通して上津江町の住民と交流を深めました。

参加者の声

<糸島市 九州大学 学生（匿名）>

福岡都市圏と筑後川、水源地域との関係について理解することができた一日となりました。特に護持の森散策では、水源地の環境林としての役割はもちろんのこと、その一部が経済林や学びの場として活用されていることを知ることができました。今回の経験を研究に生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

担当者の声

糸島市生活環境部水道課 山手 貴文さん

参加者の方に、熱心に研修を受けて頂きました。水源地域の方の森林保全等の取組みを直接見聞きすることで、福岡都市圏の水のつながりの理解を深めて頂くことができましたと感じています。

最後に、参加者の皆様、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。



筑後川のめぐみフェスティバル2025

福岡都市圏で使用する水道水の約3分の1は筑後川からいただいていることを福岡都市圏住民に周知し、筑後川への「感謝」の気持ちを醸成するとともに、福岡都市圏と筑後川流域の住民が交流を図り、相互理解を深めることを目的に、フェスティバルを開催しました。

本フェスティバルでは、筑後川流城市町村の特産品販売や、伝統芸能を披露するステージイベントなどを行い、多くの来場客でにぎわいました。

- 開催日/令和7年10月18日(土)・19日(日)
- 実施場所/福岡市役所西側ふれあい広場
- 来場者数/1日目 4,092人 2日目 6,127人 合計10,219人



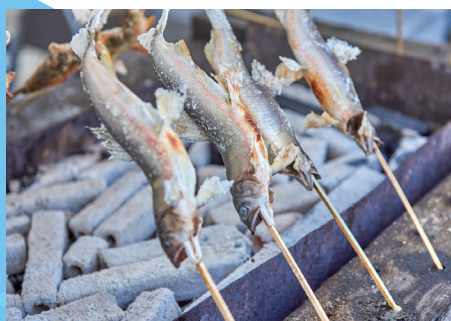
1. オープニングセレモニー

筑後川流域のご当地キャラクターや観光大使、流域連携基金キャラクター「ちっこりん」が、フェスティバル開会を祝してくす玉割りを行いました。



2. 筑後川流域交流物産展

筑後川流城市町村からは17市町村、49事業者が出展しました。筑後川流域及び水源地域の魅力あふれる物産品が並び、来場客で賑わいました。



3. 水の啓発コーナー

①水道水、②ミネラルウォーター、③海水淡水化水を当てる「利き水コーナー」やダム模型、パネルの展示コーナーなどが出展し、普段何気なく使っている「水」のありがたさや、水道水の安全さ、治水・利水に関する取り組みなどの広報啓発が行われました。



4. 観光 PR ステージ・物産品抽選会・Live 中継レポート

筑後川流域の14市町村がステージ上で観光PRを行い、場内で物産品を購入した来場者に賞品があたる抽選会を行いました。Live中継では筑後川流域から生中継レポートするとともに、筑後川流域、会場、LOVE FMスタジオの三元中継により流域の魅力を情報発信し、来場促進を図りました。

また、ステージ上の大型モニターにて筑後川流域市町村のPRビデオやCMを上映するとともに、会場リポーターが会場内を中継することで、“水の大切さ”と流域の魅力を情報発信しました。



5. ステージパフォーマンス

筑後川流域市町村の迫力ある和太鼓演舞や、アーティストによるステージパフォーマンスが行われました。



水源林整備促進支援事業

都市圏の水源ダムである大山ダム、合所ダム集水区域内の水源林保全のため、日田市、うきは市と共同で整備を行いました。

【事業実績】

- ・日田市 再造林 5.44ha
- ・うきは市 下刈 48.60ha



大山ダム（大分県日田市）



合所ダム（福岡県うきは市）

200海里の森づくり 下草刈り交流会

日田市中津江村にて開催された下草刈り交流会に、福岡都市圏から古賀市の住民が参加しました。参加者は、筑後川の水を育む水源林を守り育てるため、福岡市民、大川市民とともに下草刈りを行いました。下草刈り後はバーベキューを行い、かつて東洋一の金山といわれた「鯛生金山」にて施設見学・砂金採り体験をしました。

- 主催／200海里の森づくり実行委員会 ○実施日／令和7年9月6日（土）
- 実施場所／大分県日田市中津江村：鯛生スポーツセンター（下草刈り会場）、鯛生金山（散策）
- 参加者数／古賀市24名



“椿ヶ鼻”水源の森づくり

福岡都市圏の水源ダムである「大山ダム」がある日田市にて、福岡都市圏と日田市の高校生・大学生等の若者が、「大山ダム」の見学やダム水源林の保全活動の一環として、枝打ち作業等を行いました。

当日はあいにくの雨天となりましたが、無事に事業を実施することができ、参加した学生たちは枝打ち作業後、昼食のバーベキューなどを通して、親睦を深めました。

- 主催／“椿ヶ鼻”水源の森づくり実行委員会 ○実施日／令和7年9月20日（土）
- 実施場所／大分県日田市：前津江町（枝打ち体験）・大山町（大山ダム見学）
- 参加者数／福岡都市圏（高校生・大学生・引率教諭）34名、日田市（高校生・引率教諭）7名 合計41名



水郷ひたの森づくり

日田市主催「市民参加の森づくり」に福岡都市圏住民が参加し、地元の方々と一緒に筑後川への感謝を込めて、「ヤマモミジ」「ヤマザクラ」などの苗木768本を植樹しました。植樹場所は傾斜が大きく足場が悪いところがあり、掘っても木の根や石が出てくるなど苦戦することもありましたが、協力して植樹活動を終えることができました。植樹終了後は、天領時代の古い町並みが残る豆田町を散策しました。

- 主催／日田市 ○実施日／令和7年11月15日（土）
- 実施場所／大分県日田市：萩尾公園（植樹会場）、豆田町（散策）
- 参加者数／39名（公募の上、応募者124名の中から抽選にて当選した参加者）



合所ダム水源の森を守る森林セラピー体験

福岡都市圏の水源ダム「合所ダム」の所在地であるうきは市のつづら棚田にて、都市圏住民に、筑後川の恩恵や水源地の自然環境を守る大切さを学んでもらい、水源地である「うきは市」の豊かな魅力を感じていただくことを目的に、合所ダム水源の森を守る森林セラピー体験を実施しました。

本事業では、日本棚田百景に選ばれた「つづら棚田」をめぐる森林セラピー体験、森林保全活動の一環としてウッドチップ敷きを行いました。

- 主催／合所ダム水源の森を守る森林セラピー実行委員会
- 実施日／令和7年12月6日（土）
- 実施場所／福岡県うきは市：つづら棚田森林セラピーロード、つづら山荘
- 参加者数／25名（公募の上、応募者63名の中から抽選にて当選した参加者）



森林保全支援事業

筑後川・川の駅スタンプラリー2025

福岡都市圏在住者を対象に、圏域で使用される水道水の約3分の1を担う筑後川流域への理解を促進し、感謝の気持ちを醸成するとともに、その魅力を伝えることを目的に、筑後川流域に足を運びきっかけとして「筑後川・川の駅スタンプラリー」を実施しました。

- 実施期間／令和7年7月11日（金）～11月7日（金）
- 実施場所／筑後川流域に点在する「川の駅（※）45カ所」（福岡県・大分県・熊本県・佐賀県）
- ※川の近くに所在する、または川に関する施設で、トイレや休憩場所、地域情報を提供し、人と人の出会いを促進する空間。

地域振興支援事業

(1) 事業概要

川の駅に設置されているスタンプを5個以上（※）集め、応募した方の中から抽選で70名に「筑後川ブランド大会」に出品された賞品を贈呈。

※スタンプ5個につき1口とし、1人最大3口（スタンプ15個分）まで応募可能。

(2) 当選賞品

※スタンプラリー用紙抜粋



(4) 実施結果

① 年齢別応募状況

	人数	口数	訪問力所数
～6歳	27人	53口	288力所
～12歳	121人	235口	1,232力所
～15歳	8人	15口	75力所
～18歳	3人	7口	35力所
～30歳	14人	31口	160力所
～50歳	87人	202口	1,026力所
51歳～	79人	178口	948力所
未記入	2人	2口	11力所
合計	341人	723口	3,775力所

② 住所別応募状況

	人数	口数	訪問力所数
福岡市	141人	285口	1,511力所
筑紫野市	23人	56口	280力所
春日市	42人	87口	453力所
大野城市	28人	64口	324力所
太宰府市	13人	32口	161力所
那珂川市	14人	30口	166力所
古賀市	7人	14口	72力所
糟屋郡宇美町	12人	23口	115力所
糟屋郡篠栗町	3人	7口	35力所
糟屋郡志免町	5人	9口	50力所
糟屋郡須恵町	4人	11口	57力所
糟屋郡新宮町	24人	55口	293力所
糟屋郡久山町	4人	4口	24力所
糟屋郡粕屋町	5人	5口	25力所
宗像市	1人	2口	10力所
福津市	3人	5口	29力所
糸島市	12人	34口	170力所
合計	341人	723口	3,775力所

水源地公共研修施設利用助成

福岡都市圏在住者が、3名以上で筑後川水源地にある下記対象施設を利用する際に、利用額の一部を助成する制度です。

【助成人数実績】

- たかき清流館（福岡県朝倉市）
- スノーピーク奥日田キャンプフィールド（大分県日田市）
- ※令和8年2月末時点で助成実績なし

地域振興支援事業

環境対策支援事業

有明海クリーンアップ作戦

有明沿岸四県（福岡、佐賀、長崎、熊本）がひとつになって実施しており、地元の漁協関係者や、国、県、市の関係団体の方々と一緒に早朝から清掃活動を行いました。

- 実施日／令和7年8月20日（水）
- 場 所／福岡県柳川市 久間田漁港
- 参加者／福岡都市圏市町等の職員 23名



筑後川河川美化「ノーポイ」運動

河川美化、愛護運動の一環として、筑後川流域自治体と国土交通省が一体となって推進している活動であり、早朝から清掃活動を行いました。

- 実施日／令和7年10月26日（日）
- 場 所／福岡県久留米市 筑後川河川敷
- 参加者／福岡都市圏市町等の職員 23名



ひと山まるごとガーデニング

筑後川水源地域・下流域の住民と共に大山ダム水源林の下草刈りを行う「ひと山まるごとガーデニング」に福岡都市圏広域行政事業組合の職員が参加しました。

- 実施日／令和7年9月27日（土）
- 場 所／大分県日田市大山町 大山ダム周辺



小石原川・佐田川「ノーポイ」運動

朝倉市にあり、都市圏の水源地である「寺内ダム」周辺の清掃活動に福岡都市圏広域行政事業組合の職員が参加しました。

- 実施日／令和7年11月26日（水）
- 場 所／福岡県朝倉市 寺内ダム周辺



環境対策支援補助金交付団体

筑後川流域（有明海含む）において、環境保全活動を行う非営利活動法人（13団体）に対して、環境対策支援補助金として、活動費の助成を行いました。

地域	協議自治体等	補助金交付団体	活動内容（活動場所）	
福岡都市圏	福岡都市圏各市町	福岡市水源林ボランティアの会	筑後川上流域の水源林保全活動と水源地域住民との交流活動（大分県日田市大山町）	
		特定非営利活動法人はかた夢松原の会	新流域連携事業 2025（大分県日田市ほか筑後川流域） …福岡都市圏の住民を対象とした体験学習 「水の循環を支える：環境と人」をテーマとした交流・研修の実施	
		環境探究学研究会 久保研究室	持続的自然資源利用と管理のための研究と教育実践（筑後川流域） …学生向けの環境教育活動、筑後川流域での調査研究等	
筑後川流域	筑後川河川事務所	筑後川まるごと博物館運営委員会	高良川子ども自然と環境体験活動（福岡県久留米市） …高良川河川敷での環境体験講座を5回実施	
		エコアクト筑後川	筑後川エコアクトプログラム 2025「森からまちへ、命のつながり」（福岡県久留米市・福岡県東峰村・大分県日田市ほか） …河川での自然体験活動、森林・環境保全の意識を啓発する学習会	
		特定非営利活動法人筑後川流域連携倶楽部	水源地区久留米高良山地区環境保全活動（福岡県久留米市） …放置された竹林の整備など	
		里山保全の会 東峰フラワーズ	間伐材を使用した木工体験会（福岡県東峰村）	
有明海	佐賀県	特定非営利活動法人有明海ぐるりんネット	清掃活動や、有明海の環境保全にむけたシンポジウムの開催（佐賀県）	
水源地域	寺内ダム・江川ダム	朝倉市	安川地区 小石原川を美しくする会	小石原川及び野烏川の除草作業（福岡県朝倉市）
			甘木町「小石原川を守る会」	小石原川の高水敷の芝刈り・除草作業（福岡県朝倉市）
			堀川の環境を守る会	第18回堀川クリーンアップ活動 堀川周辺草刈及び清掃活動（福岡県朝倉市）
	合所ダム	うきは市	つづら棚田を守る会	棚田の保全活動（福岡県うきは市）
			うきは市癒しの旅先案内人協会	森林セラピーロードを活用した森林環境教育活動と森林保全活動（福岡県うきは市）

活動の様子



福岡市水源林ボランティア



里山保全の会
東峰フラワーズ



甘木町「小石原川を守る会」



堀川の環境を守る会

福岡都市圏「水」キャンペーン2025

国が定める水の週間（8月1日からの1週間）において、都市圏住民を対象に、都市圏の水事情の周知や筑後川の水のめぐみへの感謝等を啓発するため、都市圏各市町の街頭や庁舎内にてキャンペーンを実施しました。

(1) 街頭キャンペーン等

- ① 期間／令和7年8月1日（金）～7日（木）
- ② 場所／福岡都市圏内の駅施設、公共施設、商業施設等
- ③ 実施の様子

福岡市
(JR博多駅前広場)



筑紫野市・山神水道企業団
(JR二日市駅東口)



春日市・春日那珂川水道企業団
(西鉄春日原駅、JR春日駅)



大野城市
(イオン大野城ショッピングセンター)



太宰府市
(ルミエール太宰府店、西鉄都府楼前駅)



那珂川市・春日那珂川水道企業団
(JR博多南駅)



古賀市
(サンリブ古賀店)



宇美町
(宇美町役場)



篠栗町
(JR篠栗駅)



志免町
(ルミエール志免店)



須恵町
(トレードマート須恵店、Aコープ須恵店)



新宮町
(JR新宮中央駅)



久山町
(トリアスタ山)



粕屋町
(JR長者原駅)



宗像市・宗像地区事務組合
(JR赤間駅)



福津市・宗像地区事務組合
(JR福岡駅)



糸島市
(JR筑前原駅)



広報・啓発・その他

(2) デジタルサイネージ

- ① 放映期間 / 令和7年8月1日(金) ~ 31日(日)
- ② 放映場所 / 福岡都市圏内公共施設
民間施設のデジタルサイネージ

放映の様子(博多駅筑紫口ビジョン)



(3) チラシデザイン



(表面)



(裏面)

ありがとうございます 筑後川シール

「手洗い場」に啓発シールを貼ることで、水道を利用する多くの人の目に留め、筑後川のめぐみを都市圏住民に広く周知することを目的に令和4年度から実施しています。

(1) シールデザイン



(2) 貼付箇所

令和6・7年度は、We Love天神協議会や博多まちづくり推進協議会といったエリアマネジメント団体の協力を得て、各々の会員企業・団体のトイレ手洗い場に貼付しました。

※都市圏市町の公共施設・公立学校・福岡市営地下鉄・JR・西鉄各駅トイレの手洗い場には、令和4年度・5年度に貼付済み。

流域連携基金審議会

基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るために審議会を設置しています。

令和7年度審議会開催状況

第1回	令和7年6月24日	議 題 令和7年度環境対策支援補助金について 報 告 令和6年度水源林整備促進支援事業の実施状況について その他 令和6年度流域連携基金事業の実施状況について
第2回	令和7年12月19日	報 告 令和7年度 流域連携基金事業の実施状況について 議 題 令和8年度 流域連携基金事業(案)について

審議会委員

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職	任 期
会 長	渡辺 亮一	福岡大学 工学部 教授	令和6年12月1日から 令和7年4月30日まで
副会長	中村 昌子	株式会社 西日本新聞社 営業本部 ビジネス開発部長	
委 員	近藤 春生	西南学院大学経済学部 教授	
委 員	水野 秀明	九州大学大学院 農学研究院 准教授	
委 員	片平 幸子	一般社団法人ガールスカウト福岡県連盟 連盟長	

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職	任 期
会 長	渡辺 亮一	福岡大学 工学部 教授	令和7年5月1日から 令和8年11月30日まで
副会長	中村 昌子	株式会社 西日本新聞社 営業本部 ビジネス開発部長	
委 員	平井 秀明	西南学院大学経済学部 教授	
委 員	水野 秀明	九州大学大学院 農学研究院 准教授	
委 員	片平 幸子	一般社団法人ガールスカウト福岡県連盟 連盟長	

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例

平成 16 年 11 月 8 日 条例第 3 号

- (設置) 第1条 福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等の支援事業を行って連携を図るとともに、もって相互理解を深めるため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金(以下「基金」という。)を設置する。
- (積立て) 第2条 基金として積み立てる額は、歳出予算をもって定める額とする。
- (管理) 第3条 基金に属する現金は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第241条第7項の規定により保管するほか、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。
- (運用益金の処理) 第4条 基金の運用から生じる収益は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携事業特別会計歳入歳出予算に計上し、福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等を図るために必要な費用に充てるものとする。
2 前項の規定により必要な費用に充て、なお、剰余金があるときは、当該剰余金は、基金に積み立てるものとする。
- (繰替運用) 第5条 管理者は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法及び期間を定めて基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。
- (処分) 第6条 管理者は、基金の設置目的を達成するため必要があると認めるときは、これを処分することができる。
- (委任) 第7条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、管理者が定める。
- 附 則 この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例施行規則

平成 17 年 3 月 22 日 規則第 7 号

- (趣旨) 第1条 この規則は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例(平成 16 年福岡都市圏広域行政事業組合条例第 3 号)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
- (対象地域等) 第2条 基金で実施する事業の対象地域は、福岡都市圏共通の水源地域及びその流域(有明海を含む。)とし、基金で実施する事業は、次の各号のいずれかに該当する事業とする。
(1) 水源地域及び流域との文化、スポーツ、植樹祭等の交流推進事業
(2) 水源地域の育林、造林、その他荒廃林対策等への支援を行う森林保全事業
(3) 福岡都市圏地域住民の総合学習及び生涯学習の場として、公共的な研修施設等の利用又は活用を支援する地域振興支援事業
(4) 森林の育成及び保全に関する活動等による環境保全への支援を行う環境対策支援事業
(5) 前各号に掲げるもののほか、その他支援が適当と認められる事業
- (運営委員会及び審議会) 第3条 基金で実施する事項に関し、事業の選定及び事業の内容、計画等を審議するため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。
2 基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金審議会(以下「審議会」という。)を設置する。
3 審議会は、運営委員会で審議した事項に関し審査を行う。
4 運営委員会及び審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。
- (規定外の事項) 第4条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、福岡都市圏広域行政事業組合管理者が定める。
- 附 則 この規則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則 この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

